

定例公安委員会の開催概要

定例公安委員会は、平成31年3月6日（水）に開催されました。

1 決裁事項

- ・ 秋田県公安委員会公文例規程の一部改正について
- ・ 秋田県警察署協議会に関する規則の一部改正について
- ・ 秋田県警察の組織に関する規則の一部改正について
- ・ 外部通報に係る調査結果について
- ・ 猟銃安全指導委員の委嘱について
- ・ 秋田県少年指導委員運営規程の一部改正について
- ・ 運転免許の取消処分について

2 報告事項

(1) 平成30年中の年次休暇取得状況について

県警察から、平成30年中の年次休暇取得状況に関する報告があった。
平成30年中の休暇取得状況を踏まえ、各種行事を見据えた計画的な年次休暇の取得を促進する。
主な方策として、業務の効率化・計画的遂行、業務の共有、記念日、私的行事等への配慮及び「月一年休」の取得定着化を図る。

委員から、『年次休暇が取得しやすくなっているように感じる。意欲的に仕事をするためにも、休暇取得を推進していただきたい。』との発言があった。

(2) 警察庁による随時監察の受監結果について（平成30年度第4・四半期、東北管区警察局代行）

県警察から、警察庁による随時監察の受監結果に関する報告があった。
1月25日、警察署を対象として実施された「非違事案防止対策の推進状況」に関する随時監察を受監した結果、良好であった。

委員から、『非違事案を防止する上では、日頃からきめ細かい配慮が必要である。どの時期にどのような情報を発信するのか、どのような注意を促すかが大切である。』との発言があった。

(3) 平成31年2月末の交通事故発生状況について（概数）

県警察から、平成31年2月末の交通事故発生状況に関する報告があった。
2月中の交通事故は、発生件数133件、死者なし、負傷者数152人と、前年同期より発生件数は60件、負傷者数は71人いずれも減少した。死者数は同数であった。
2月末までの交通事故は、発生件数283件、負傷者数332人と、前年同期より発生件数は74件、負傷者数は87人いずれも減少し、平成29年以降減少傾向にある。
また、2月末までの高齢者が第1当事者となった交通事故は、前年同期より発生件数は16件、高齢負傷者数は26人いずれも減少し、死亡事故の発生はなかった。

委員から、『今年は、雪解けが早く道路状況が良いことから、早めの事故防止対応をしていただきたい。高齢者・国道・軽トラの3Kについても、しっかりと対応をお願いする。』との発言があった。